

松 緑 白 花

Vol 26

石垣市立石垣中学校
教 頭 市原 教孝

10/10(土) 主将・田本涼、獅子奮迅！

県制覇の余韻が続いている。大会を終え、振り返ってみると、最大のヤマは2回戦、あげな中(中頭代表)との対戦だった。初回、ワイルドピッチで1点を失う最悪の立ち上がり。普通なら典型的な負けパターン。あいにく雨。ぬかるむグラウンド。石中ナインは懸命な守備で耐えた。

迎えた3回1死走者なし。打席に立った田本涼(2-1)。カウント0-2。追い込まれた。彼のすごさはボールを体近くまで引きつけてからのスイング始動だ。しかもコンパクトで鋭い。春夏制覇の興南高校・我如古主将を彷彿(ほうふつ)とさせる。ファールで粘った6球目。思い切り振り抜いた打球は左中間へ深々と飛んだ。全力で各ベースを蹴り、本塁へ。相手も懸命のバックホーム。クロスプレー。主審の両手が勢いよく横に広がった。起死回生！同点のホームイン。次の打席は5回。これも1死走者なし。2-2からの外角ストレート。普通の打者なら当てるだけのところだが、涼の打球はライト線へ鋭く跳んだ。フェンスで跳ね、右中間へ転がる。再び全力疾走で本塁突入。逆転。この得点が決勝点となった。まるで「天が味方している」かのような、「見えない力が後押ししている」かのような、獅子奮迅の働きだ。

もちろん偶然ではない。田本涼は練習後も毎晩父親とトスバッティングを欠かさないという。主将を務め、33名の部員をまとめる。正捕手として5人の投手をリードする。大会4試合を終え、疲れも極限だったはず。しかし野球部は翌12日、玉城中(島尻地区)のグラウンドにいた。同校とダブルヘッダー。九州を見据えていた。涼はこの2試合もマスクを被り、長打も放った(写真)。県制覇、九州に導いた田本涼。今度は石垣中学校を全国へ導く。



10/12(月) 「夢をありがとう!」 徳山純英元会長から祝福メッセージ

徳山純英元PTA会長、砂川正信前会長、元副会長の宇根和昌氏、小林千寿子氏が花束を抱え、監督・コーチたちの慰労会に駆けつけていただきました。徳山純英氏が4氏を代表してあいさつ。「昨日は新川公民館で敬老会をやっていました。会の途中で、石中野球部の朗報、ほぼ同時に八重山高校の朗報が届きました。敬老会は急きょ、祝賀会に変わりました。足腰が不自由なおじいさん、おばあさんも立ち上がって、校区のお年寄りと一緒にみんなで万歳三唱をしました。これまで、夢はつかむ者だと思っていました。しかし、お年寄りたちの笑顔を見ながら、夢は与えるものだと思いました」と、あたたかいあいさつをいただきました。みんなの活躍は、学校、家庭を越えて、地域全体を元気にしてくれています。



10/7(水) 受験シーズン本格化

この日の5校時、体育館に3年生と保護者を集め、3高校説明会が開催されました。表は現在時点での本校生の志望状況。本校生は八重山地区全体の約1/3。…八重山高校、商工機械、商工観光はやや狭き門となりそうですね。13日には、「残暦板」も設置されました。生徒会役員の皆さんが手作りしてくれました。年度末、ぜひ「全員で高校生に」を達成しようね。



石垣中学校 進路希望調査										9/18現在
高校名	学科名	コース名	定員数	1組	2組	3組	4組	5組	6組	合計
八重山高等学校	普通科	機械コース	240名	20	16	15	18	14	19	102
		電気コース	20名				1			1
	情報技術科	会計システムコース	40名	1	1		3	2	3	10
		情報ビジネスコース	30名	2		2	2			6
八重山農林高校	グリーンライフ科	観光コース	40名	1	1	5		1	2	10
		フードプロデュース科	40名	1		1		2	4	8
	アグリフード科	ライフスキル科	40名	1			1	2	1	5
		商業科	40名	3	2	5		3	1	14
定 八重山商工高校	商業科		40名							0
島外へ進学				3	4	1	3	3	2	16
就 職										0
未 定								1		1